

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

梅雨の季節ですが、既に三十度を超えた日もあります。天候不順です。くれぐれもご自愛ください。

「尾張名古屋・歴史街道を行く―杜寺・城郭・尾張藩幕末史―」をお送りしている今年からのかわら版。今月は**国分寺と国分尼寺**についてです。

★氏族仏教から国家仏教へ

日本への仏教公伝は五三八年です(五五二年説もあります)。当初は**氏族仏教**でしたが、六四五(大化二年)の**仏教興隆の詔**を機に朝廷が認める**国家仏教**に転じていきます。

四十五代聖武天皇の頃、平城京で疫病が蔓延し、民衆には不安が広がりました。

これを払拭すべく、七四一(天平十三)年、聖武天皇は各地の国府に**国分寺・国分尼寺建立の詔**を発します。

★国分寺

続日本紀には、尾張国の国府の場所は**鵜沼川(木曾川)下流**と記され



ています。

尾張国分寺は矢合町(やわせちう)椎ノ木辺りと考えられます。三宅川左岸の北東方向、自然堤防上に**国府推定地(尾張大國霊神社付近)**があります。他の国府と国分寺の位置関係に比べるとかなり遠くに建立された印象です。国府域が広がったとも言えます。

矢合の畑の中に国分寺址の石碑があり、寺域は大規模で、金堂・講堂・塔の遺構が確認されています。金堂・講堂・南大門が南北一直線に並び、金堂左右に回廊があり、その東に塔が配置されていました。

日本紀略には、八八四(元慶八)年に尾張国分寺が焼失し、国分寺を愛智郡の**願興寺**に移したと記されています。願興寺は十世紀には衰退して廃寺に至ります。

その後の変遷は不詳ですが、創建時の遺構北方において、**円興寺**から改称した**国分寺**が法燈を伝承しています。創建期の国分寺跡の北に位置します。円興寺と願興寺の関係は不詳です。

円興寺は十四世紀の創建で、開基は**大照和尚、覚山和尚、柏庵宗意**と諸説あります。

木造釈迦如来坐像が大小二体あり、いずれも宝髻を結び、宝冠をいたたくので、**宝冠釈迦像**と呼ばれます。寺の南に熱田神宮の神領である鈴置

郷があったため、檜材寄木造りの熱田大宮司夫妻坐像も伝わります。

円興寺はかつて北方の一本松の地にありましたが、十七世紀初頭に矢合城址の現在地に移り、その際に旧国分寺の釈迦堂(国分寺堂)が椎ノ木から境内に移されました。

旧国分寺の本尊とされる薬師如来像も安置され、のちに円興寺の本尊となりました。そうした経緯から、旧国分寺の継承寺院となりました。

江戸時代の尾張名所図会では、近隣の**円光寺(萩寺)**とともに「**両円こう寺**」として紹介されています。後に円興寺改め国分寺となります。

★四楽寺

いずれの国においても、国分寺の周りには徐々に寺院が増えていきます。最初は南都六宗の寺院が創建され、やがて最澄、空海が平安仏教の礎を築くと、天台宗、真言宗の寺院が建立されていきます。

尾張国は奈良や京都、比叡山、高野山に近いことが影響し、南都六宗、天台宗、真言宗の寺院が他国よりも早く、かつ多数建立され、全国で最も寺院数が多い地域となっていました。

旧国分寺の東西南北には**四楽寺**と呼ばれた末寺が建立されました。北方の**安楽寺**、東方の**平楽寺**、南方の**長楽寺**、西方の**正楽寺**です。長楽寺の後継は現在の**長歴寺**です。

★国分尼寺

国分尼寺が建立された場所は国分寺跡から北西に半里弱の**法花寺町辺**りです。

近くにある**法華寺**が国分尼寺を伝承するとの説もあります。

これは、江戸時代中期の尾張藩士で国学者として知られていた**天野信景**が著作「塩尻」の中で「国分尼寺の名残が法花寺村の法華寺にあたる」と記して以来の説です。

九八八(永延二)年の尾張国郡司百姓等解文、一〇〇九(寛弘六)年の大江匡房奏状において国分尼寺修造に関する記述があり、国分寺より長く十一世紀までは存続したことが確認されています。

その後の経緯は不詳ですが、寺伝によれば永正年間(一五〇四〜二一年)に**無味禪公**が**才教桂林**を招いて尼寺跡地に堂宇を建て、国鎮寺と号したことに始まります。織田氏の兵火に遭ったものの、残った小堂を現在地に移し、後に法華寺と改称しました。

法華寺から西へ半里弱の位置に**建仁年間(一二〇一〜〇四年)**創建の**善応寺**があります。織田信長の鉄砲隊長であった**道求一**把が再興したと伝われます。この地域には尾張氏や織田氏との由来が伝わる社寺が多数あります。

善応寺の南東一里弱の位置に**長暦寺**があります。上述のとおり、四楽寺のひとつ**長楽寺**の法燈を継承する寺院です。

★斯波氏と織田氏

国府、国分寺、国分尼寺と揃った尾張国。都にも近く、豊かな尾張国の守護として**斯波氏**が任命されます。来月は**斯波氏と織田氏**についてです。乞ご期待。

